

2020-2025

第2次西山口地区まちづくり計画

令和2年(2020年)4月



あした住みよい西山口
あ「安心」「幸せ」「楽しく」「住みよい西山口」
すみよいにしやまぐち

令和元年秋撮影

西山口地区まちづくり協議会

目次

1	地区まちづくり計画とは ……………	1
2	第2次西山口地区まちづくり計画策定の趣旨 ……	1
	計画策定の手順、進め方、計画の期間	
3	現状確認、旧計画の振り返り ……………	2
	(1)地域の現状と課題	
	(2)アンケート、グループワーク等に見る現状、課題	
	(3)まとめ	
4	第2次西山口地区まちづくり計画の内容 ………	6
	(1)基本方針	
	(2)地域の将来像	
	(3)分野別の目指す姿、課題	
	(4)実施計画の一覧	
5	計画の実現に向けて ……………	12
	(1)まちづくりへの積極的な参加を	
	(2)継続的改善	

付記・第2次西山口地区まちづくり計画策定委員名簿



1 地区まちづくり計画とは

掛川市には市民と行政、企業などの役割りと責務を定めた「自治基本条例」と「まちづくり協働推進条例」があり、各自治区は地区での活動や事業を進めるにあたってこれらの条例により、組織(まち協)や計画(まちづくり計画)を作るよう決められています。大小を問わずほとんどの組織で年間(単期、長期)の事業計画を立てますが、西山口地区でも将来を見込んだ西山口地区まちづくり計画を作成してきました。この計画策定によ

り地域でやっている行事や事業が時代にそっているかどうか、目的にあった事業だったか比較、検証が可能になります。また、計画に位置づけることにより行政などからの支援を受けることが可能となり、より計画の実現に近づきます。

このように(まちづくり計画)は地域活動のための「設計図」であり「行動計画」と言えます。

2 第2次西山口地区まちづくり計画策定の趣旨

計画策定の手順、進め方、計画の期間

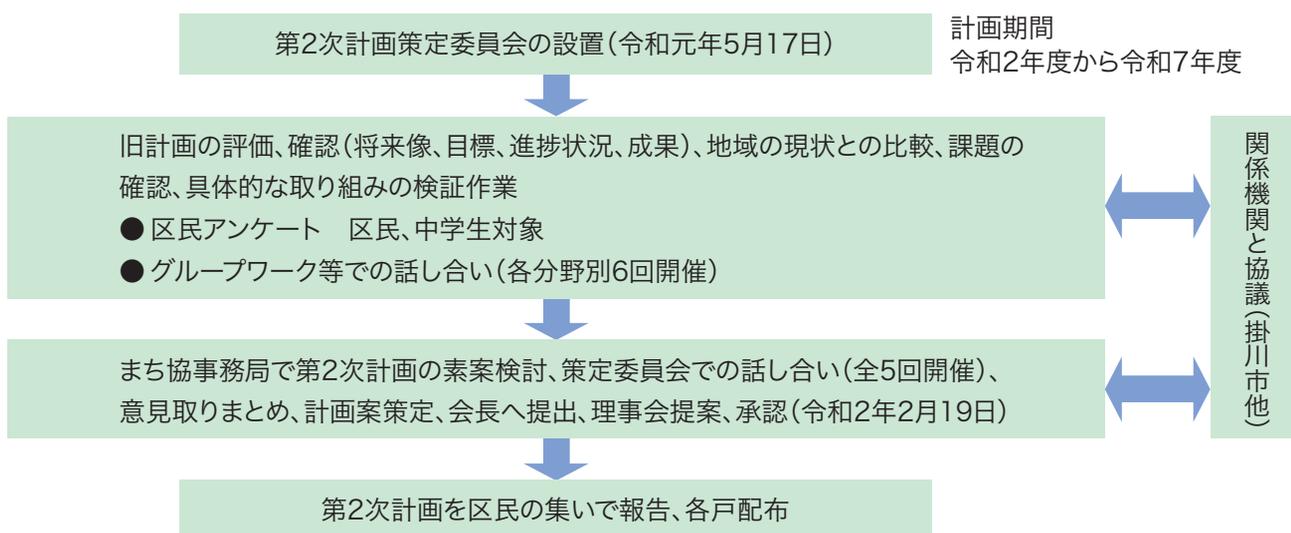
西山口地区まちづくり協議会は掛川市のモデル地区として他地区に先駆け、平成26年6月に発足しました。

平成27年度から31年度までの5年間を計画期間として、西山口地区まちづくり協議会として取り組んでいきたい活動、やってみたい行事の確認、どこが中心になって進めるか、などを住民の皆さんや地域の役員さん、さらに行政も含め相談し「西山口地区まちづくり計画」(以下、「旧計画」という。)として取りまとめ公表してきました。

今5年が過ぎようとしています。この間に、地域はどう変わったのか、皆さんの住み心地はどうなったのか、西

山口地区まちづくり協議会は地域の皆さんに親しみを持たれてきたのか、さらには目指してきた『あした住みよい西山口』に近づいているのか、などいろいろな面から旧計画を評価、検証するために、区民を対象にアンケート調査やグループワーク(意見交換会)等を行ってきました。

それらの評価結果をもとに、新たな視点も加え、令和2年度から7年度までの6年間の第2次西山口地区まちづくり計画を作りました。計画策定の手順は以下のとおりです。



3 現状確認、旧計画の振り返り

(1) 地域の現状と課題

● 西山口地区は、市の東方向に位置し、面積6.25km²(掛川市の2.4%)で7自治区(満水区、藺ヶ谷区、宮脇区、成滝区、葛川区、青葉台区、金城区)からなり、3,163世帯、8,379人が住んでいます(平成31年4月末現在)。区画整理事業など宅地化が進み、旧計画時から232世帯、391人の増加がありました。特に宮脇区は、長年の懸案だった区画整理事業が完成しましたが、以降周辺部では小規模な宅地化が

進み、道路や水路の整備が後追いの形になっています。以前は、農地の中に宅地が点在した状態でしたが、今は逆の姿になっています。

● 地区全体の高齢化率(65以上の人口割合)は26%と旧計画時の24%から上昇し、高齢化は進んでいますが、自治区により違いがみられます(宮脇区18%、藺ヶ谷区34%)。

(2) アンケート、グループワーク等に見る現状、課題

旧計画の評価

平成26年度に始まったまち協の組織改革では、従来独立した組織だった「学習センター」「福祉協議会」の組織を見直し、さらに区長会の協力も得て実質的に地域で統一した自治活動組織として「西山口地区まちづくり協議会」を立ち上げました。組織が一本化したことにより、組織間の意思疎通の迅速化、役員総数の削減、専任事務担当スタッフの充実が図られ、事務の合理化、迅速化、活動の質、幅の拡大など多くのプラス面が見られました。一方、実務面では、活動の質が高まったことによる業務量の増加、役職の兼務者の増加など、役員への負担が増加したとの声も上がりました。また、役員をやっているにもかかわらずまち協では何をやっているのか知らないとの声もあり、区民への認知度アップ策、PRが必要となっています。

区民アンケートによる西山口地域の評価

皆さんが西山口地区をどう見ているかを5年前と同じ11項目でアンケートを行いました(調査結果のグラフは4ページ)。

- ① 総合評価では、約70%の人が「生活しやすいまち」と答えています(5年前と変化なし)。
- ② 安全面や日常の利便性への評価は少し上昇しましたが、「近所つきあいがよいまち」は少し下がりました。
- ③ 「伝統や歴史、文化に誇りと愛着を持てるまち」「活気があるまち」、「お年寄りの生活に便利なまち」などは5年前と同様にあまり高い評価ではありません。
- ④ 今回はじめて「まち協認知度」の調査も行いました。「まち協」という名前は75%、活動は46%の人が知っていました。名前はともかく、どんな活動をやっているかわからない人が半数以上いたことは、今後の大きな課題です。

まち協活動のひとこま



- 地区内には、掛川市の公共施設とし、学童保育所、すこやかこども園、西山口小学校、東中学校、東部ふくしあがあります。
- 地区の南部には、リニューアルしたつま恋リゾート彩の郷、環境資源ギャラリー、22世紀の丘公園(たまり一な)、新エコポリス工業団地などがあり、掛川市の健康、福祉、教育、産業、環境、レクリエーションな

ど多方面で重要な役割を果たしています。

- 地区の中央部には二級河川逆川が東西に流れ、昭和57年の水害を受けて、大規模な改修が行われ、以降大きな被害は見られていませんが、近年の異常気象に対応した、新しい防災・減災対策が必要となっています。

● 自由記述

◎整備、改善したいところ(回答者数170人 複数回答)

① 道路・通学路の整備	80人
② 子どもが安全に遊べる公園・広場	23人
③ 交通の安全性の確保	15人
④ 地域活動組織、行事の見直し、意識改革	12人
⑤ 災害対策の充実	10人

◎住みよい街にしていくために必要なこと(回答者数154人 複数回答)

① 住民同士の交流、世代間の交流	44人
② 地域活動組織、役員体制、行事の見直し	18人
③ 若い世代が子育てや、活動参加、働きやすい環境をつくる	11人

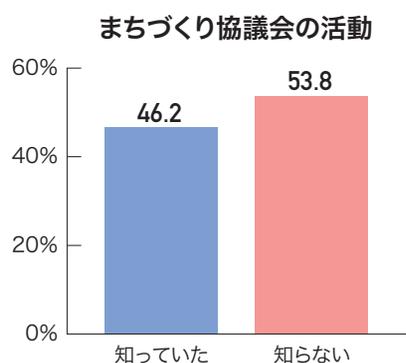
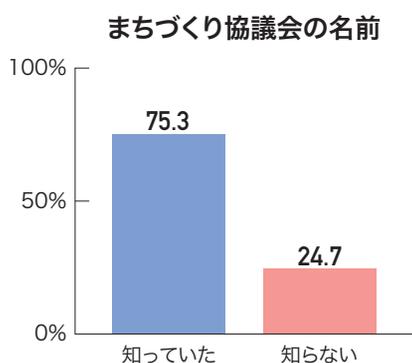
● 中学生アンケート(自由記述 回答者数55人 複数回答)

◎西山口をどんな街にしたいか

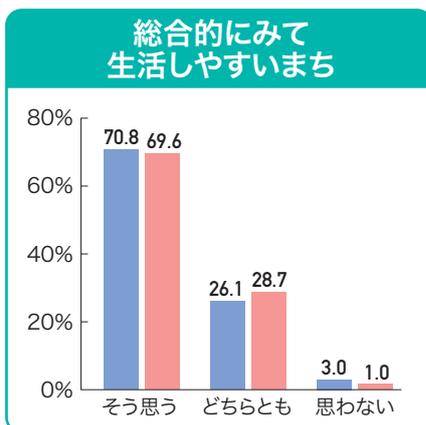
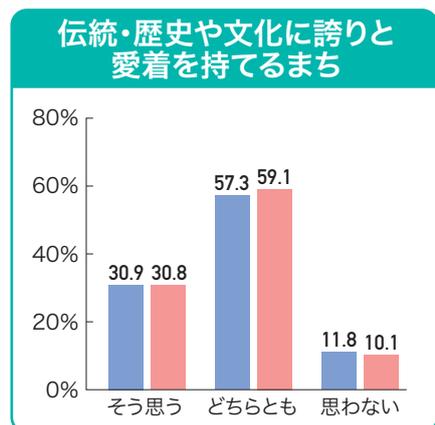
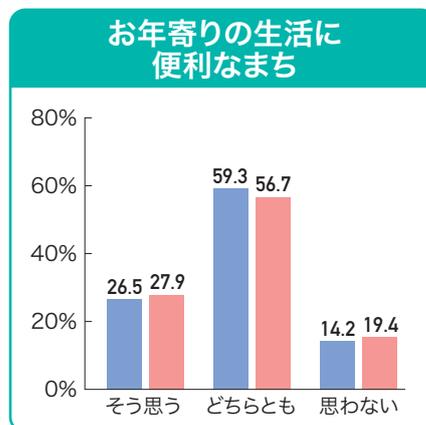
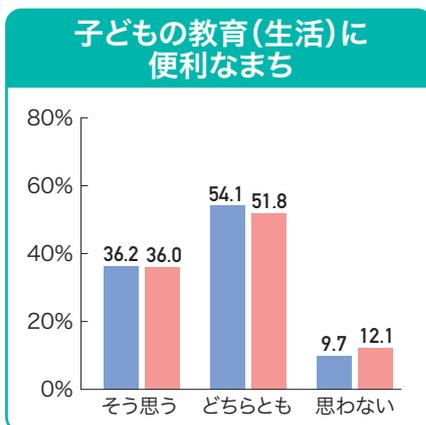
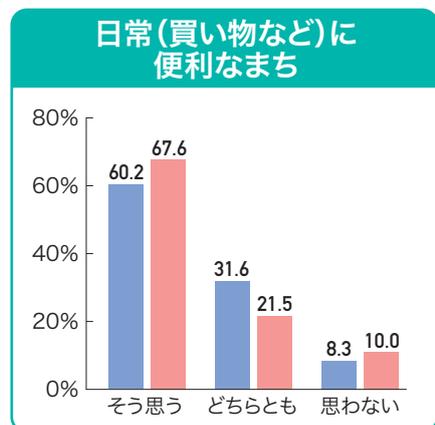
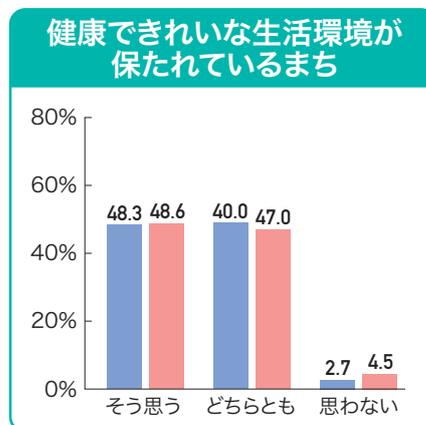
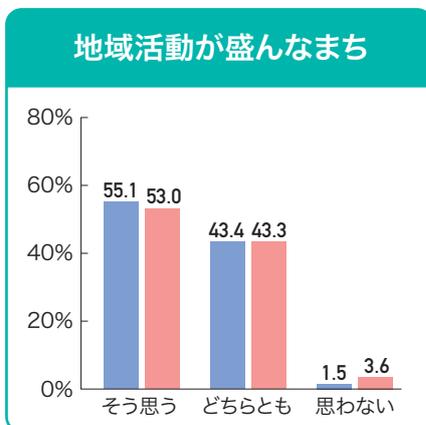
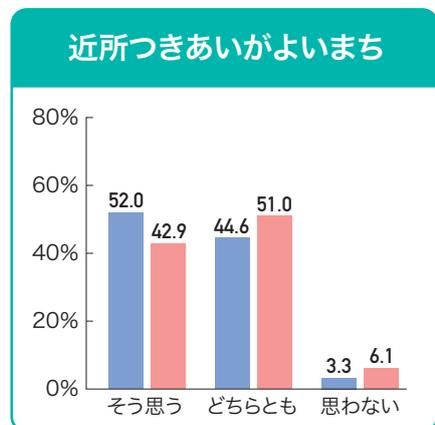
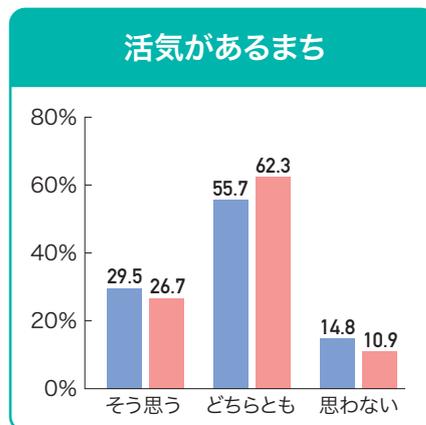
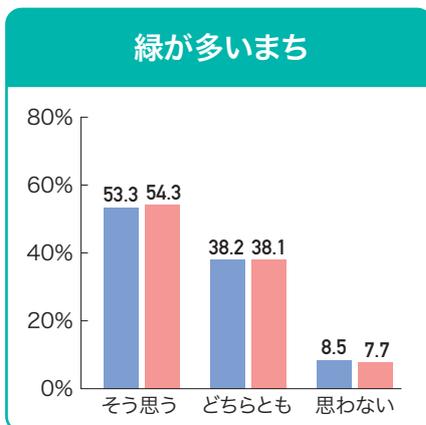
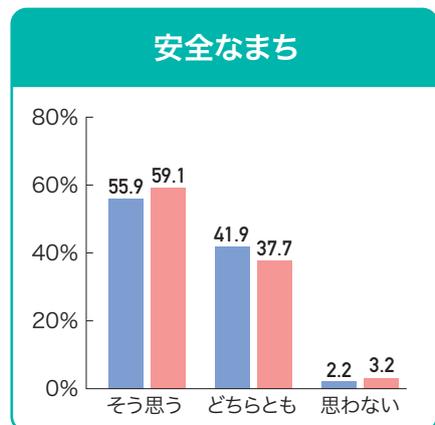
① 安心、安全、平和、明るく	28人
② つながり、助け合い、コミュニケーションがある	12人
③ 平等、均等な発展	7人

新計画の目標(6項目)

まち協の認知度



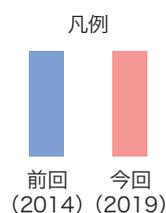
西山口地区まちづくりアンケートの結果(令和元年8~9月実施)



〈回答者〉

組長 157人

西山口小3、6年生保護者 90人



策定委員会、グループワーク等での意見

- 生活様式が大きく変化し、家族のありようも変わっている。社会の変化を踏まえた計画にすべきでは。
- 委員になって初めてまち協の活動を知った。あまり情報が伝わっていない。
- 地元区の行事をこなすので精一杯。まち協の大事さはわかるが、今の6つの目標を充実させていけばいいのでは。
- 行事への参加が役員だけで終わっていて、区民を巻き込んでいない。区民が何を求めているかを集約すべき、巻き込む魅力的な行事、運営を。
- まち協の知名度が低い。関係する全てのチラシに「主催 西山口まち協」と入れる。
- 防災、高齢者対応をもっと深めたい。
- 行事について、役員の負担が多すぎる。継続できる制度、体制を。
- 区民が参加する行事の内容を見直し、今困っていること、やりたい行事(災害時対応、イノシシ出没への対応)を調査し、まち協を進化させる。

(3) まとめ

区民や中学生のアンケート結果や、分野ごとに計6回開催したワーキンググループによる討論、5回わたる策定委員会での意見交換などから、第2次計画でも、地域の課題は大きくは変わっていないと考えられるため、基本的には旧計画での「地域の将来像」「目標」や、「実施計

画」を継承し取り組んでいきます。

その中で特に、地域防災については、区民の関心も高く課題も大きいこともあり、速やかな取り組みが必要とし、第2次計画に新たな事業として防災対策を加えました。



令和元年度ふれあいせんだんの日



4 第2次西山口地区まちづくり計画の内容

(1) 基本方針

まちづくりを進めるうえで、「地区民等」、「行政」、「市議会」が協働してまちづくりに取り組むことにより、地区住民一人ひとりが、豊かな生活環境の中で、西山口地区に住んで良かったと思われるようなまちづくりをしていきます。



(2) 地域の将来像

～あした住みよい西山口(住みよい・住みたいまち西山口)～

(3) 分野別の目指す姿・課題(実施計画は8～11ページ)

住民のきずなが強い西山口

◎ 目指す姿

掛東学園子ども育成支援協議会の事業「笑顔であいさつ」運動との連携、あいさつのある隣近所との良い関係を、地区行事や地区情報をもとにして地区全体へと広げ、まとまりのある絆が強い地域を目指す。

◎ 課題

まちづくりの担い手の発掘、地区行事への参加しやすい雰囲気づくり、お年寄りから若者までの意思疎通、相互理解を深める。
近隣と適度な距離感を保つ。

安全で安心・健康に暮らせる西山口

◎ 目指す姿

地震・台風・土砂崩れなどの災害に強く、犯罪の少ない、暮らしやすいまち。
地域ぐるみで子どもを見守り、育てる環境をつくる。

◎ 課題

住民の危機意識が必ずしも防災行動に結びつかない。ハード面の整備。
日常的に子どもを見守る防犯体制の拡充とボランティア増員。

高齢者が元気で生きがいを持って暮らせる西山口

◎ 目指す姿

お年寄りや身体に不自由のある方を地域で支えあい、助け合いが自然にでき、暮らしやすい地域にする。

◎ 課題

お年寄りと若者の交流の場が少なく、世代間の融和に欠けるところがある。お年寄りの居場所、いこいの場づくりが必要。

子どもの笑顔があふれる西山口

◎ 目指す姿

次代を担う子どもたちを安心して育てられる環境づくりや、子どもたちが地域に愛着と誇りを持てるようなふるさとづくりを行う。

◎ 課題

地区内に、子どもたちが自然と集い遊べる公園(広場)が少ない。子どもと大人の関わりが少ない。

自然と生活が共生できる西山口

◎ 目指す姿

河川、鎮守の森、里山などの自然を守り、共生できる環境を美化、保全する。

◎ 課題

ごみの放置、耕作放棄地の放置、環境にやさしい生活より利便性に偏った生活習慣への意識啓発。

ボランティア活動に参画しやすい西山口

◎ 目指す姿

多くの方が、何らかの形で地域でのボランティア活動に参加する。

◎ 課題

ボランティア活動へ参加しやすい環境づくり、受け入れ体勢の整備、役員任期制のデメリットの克服。

(4) 実施計画一覧

●目標(基本方針): 住民のきずなが強い西山口

継続・廃止・課題 の別題	NO.	具体的な取り組み (事業名)	事業概要	事業の 評価結果	2次計画 (○継続) (●新規) (△研究) (×廃止) (▲検討中)	役割分担 (主催者)	スケジュール							
							R2	R3	R4	R5	R6	R7		
継続事業	1	区民の集い、新年を祝う会	区民同士の交流、親睦を深め、地域の課題や希望を語り合う	継続	○	まち協・区	→							
	2	祭典、納涼祭	各自治区でおこなわれる祭りなどに参加し地域とのつながりを深める	継続	○	自治区	→							
	3	体育祭、フェスタ西山口	各地区民の親睦、融和を図るため、イベントを開催する	継続	○	まち協	→							
	4	女性セミナー	各種講座(セミナー)の開催を通じて、参加者同士の交流を図る	継続	○	まち協	→							
	5	福祉バザー	区民から寄付された物品を販売し、売上金を小学校等へ寄贈する	継続	○	まち協(福祉協)	→							
	6	広報誌(ひとがき)発行	まち協のPR誌として活動の報告、地域の情報を提供する	継続	○	まち協	→							
	7	人材育成講座あした塾	人材育成を目指したが、研修生集め、塾運営スタッフ不足等から休止、体制を整え、代替案検討	研究	△	まち協								
	8	ファミリーハイキング	各地区民の融和を図るため、イベントを開催する	継続	○	まち協	→							
	9	地域分権研究(注)(フリーマーケット)	自主財源の確保を目指したが、採算性、運営スタッフ不足から休止、可能な方法を模索	研究	△	まち協								
課題事業	10	住民意向調査	アンケート、ワークショップ等で区民の意向をつかむ(数年に1回)	検討中	▲	まち協								
	11	人材バンク活用	地区内に住んでいる専門的な知識や特技を持っている人のリスト作り	研究	△									
	12	世代を超えた交流の場づくり	子供からお年寄りまで気軽に集える場を提供する	研究	△									
	13	地域バスの利活用	自家用車代わりに利用できる便利なバスの運行などを検討する	研究	△									
	14	地域分権研究(注)(軽トラ市)	自主財源の確保を目指し、手法など研究する	研究	△									
	15	にしまぐち桜祭り	金城公園を活用したイベント、地域の融和を図る	新規	●	まち協	■	■	■	■	■	■	■	■
	16	人の輪づくり応援事業	趣味など地域活動グループに対し運営を支援する	検討中	▲	まち協	■	■	■	■	■	■	■	■

● 目標(基本方針): 安全で安心・健康に暮らせる西山口

継続・課題・廃止の別	NO.	具体的な取り組み (事業名)	事業概要	事業の 評価結果	2次計画 (○継続) (●新規) (△研究) (×廃止) (▲検討中)	役割分担 (主催者)	スケジュール						
							R2	R3	R4	R5	R6	R7	
継続事業	17	防災訓練(黄色いハンカチ運動)	地域防災訓練などに積極的に参加する	継続	○	まち協・区	■	■	■	■	■	■	■
	18	交通安全立哨	交通安全を願い、危険個所での安全確認	継続	○	まち協他	■	■	■	■	■	■	■
	19	下校時の子供の見守り・声かけ	地域で子供を見守り、子供の安全、安心の環境をつくる	継続	○	まち協他	■	■	■	■	■	■	■
	20	防犯パトロール隊	定期的に巡回し、子供を見守り犯罪、事故等の未然防止を図る	継続	○	まち協他	■	■	■	■	■	■	■
	21	学区見回り・子どもの声かけ	長期休暇前に地域内街頭を巡回、監視、登校中の児童に声掛け	継続	○	まち協他	■	■	■	■	■	■	■
	22	災害に強いまちづくり	家屋の耐震診断、補強、家具の固定、ブロック塀の転倒防止の啓発	継続	○	まち協他	■	■	■	■	■	■	■
	23	食生活改善・健康予防	健康づくりプログラムの推進	継続	○	まち協他(福祉協)	■	■	■	■	■	■	■
	24	防災研修会の実施	区民の防災意識をたかめる(にしやまぐち防災)	継続	○	まち協・行政	■	■	■	■	■	■	■
課題事業	25	企業との防災連携対策	災害時の物資補給、運搬、保管などで共同体制を作る	新規	●	まち協・企業	■	■	■	■	■	■	■
	26	防災体制の強化	西山口地区間での防災関係情報共有	新規	●	まち協・区・行政	■	■	■	■	■	■	■
	27	各区ごと防災計画の策定	各区ごとの防災計画を、地区の計画と整合を図りながら作る	新規	●	まち協・区・行政	■	■	■	■	■	■	■



(4) 実施計画一覧

● 目標(基本方針)：高齢者が暮らしやすい西山口

継続・課題・廃止の別題	NO.	具体的な取り組み(事業名)	事業概要	事業の評価結果	2次計画 (○継続) (●新規) (△研究) (×廃止) (▲検討中)	役割分担 (主催者)	スケジュール							
							R2	R3	R4	R5	R6	R7		
継続事業	28	地区敬老会	7地区合同で、敬老会対象者に感謝を込めた祝賀会を行う	継続	○	まち協 (福祉協)	→							
	29	ふれあいサロンの開設・運営	好きな時にいつでも立ち寄り歓談できる憩いの場所をつくる	継続	○	まち協・区	→							
	30	高齢者支援、見守りネットワーク	身の回りにいる高齢者(特に単身の)支援のシステムを作る	継続	○	まち協・区・行政 (福祉協)	→							
	31	高齢者グラウンドゴルフ	地区を挙げて健康はつらつグラウンドゴルフ大会の実施	継続	○	まち協 (福祉協)	→							
	32	食生活推進部事業への支援	各種料理教室、高齢者への弁当サービス	継続	○	まち協 (福祉協)	→							
	33	保健委員活動への支援	のびのび健康講座の開催	継続	○	まち協 (福祉協)	→							
課題事業	34	学童保育所との連携(地域分権事例研究)	地域分権研究	研究	△									
	35	お助け隊(ボランティア)による支援	日常生活が不自由な高齢者などへ支援するシステムを検討する	研究	△									

● 目標(基本方針)：子どもの笑顔があふれる西山口

継続事業	36	祭典、地区体育祭、納涼祭、フェスタ	地元区や地域の行事に参加し、子供との親睦を図る	継続	○	まち協・区	→							
	37	子育て支援サークル「じゃがいも」、児童支援講座、こども福祉委員会	未就学児の親たちを支援する活動を進める	継続	○	まち協 (福祉協)	→							
課題事業	38	里山等体験事業	どんぐりやしいの実拾い、水中生物や野鳥観察など、自然を体験できるイベントの企画	継続	○	まち協	→							
	39	地域の歴史・文化見守り事業	地区内の史跡や歴史あるものを訪ね、地区を知り、地区に誇りをもって後世に残していく。	研究	△									
	40	ふれあいせんだんの日の開催	西山口のシンボルである「せんだん」の木を子どもたちと地域で見守る。	新規	●	まち協・地区・小学校	■	■	■	■	■	■	■	■

● 目標(基本方針): 自然と生活が共生できる西山口

継続・課題・廃止の別	NO.	具体的な取り組み(事業名)	事業概要	事業の評価結果	2次計画 (○継続) (●新規) (△研究) (×廃止) (▲検討中)	役割分担 (主催者)	スケジュール							
							R2	R3	R4	R5	R6	R7		
継続事業	41	一斉美化活動	全市一斉環境美化活動に参加する	継続	○	地区	→							
	42	側溝等清掃活動	下水道清掃活動を行い良好な生活環境をつくる	継続	○	地区	→							
	43	水質浄化啓発活動	逆川などの浄化活動に協力する。 水質の定点観察 逆川自然体験教室の開催	継続	○	まち協・区	→							
課題事業	44	逆川自然再生事業	合併浄化槽の普及啓発、 ゴミの不法投棄防止 清流だったころの逆川を取りもどす	研究	△									
廃止	45	耕作放棄地等活用事業	耕作放棄地や遊休地に花などを植栽し環境美化を図る	廃止	×									

● 目標(基本方針): ボランティア活動に参画しやすい西山口

継続事業	46	ボランティア・サポーター環境の醸成	事務局へのボランティア、サポーターの積極的取り組み	継続	○	まち協・福祉協	→						
	47	ボランティア活動の拡充	ボランティア活動(すこやかこども園、小中学校の花壇、小学校の図書協力)	継続	○	まち協・福祉協	→						
	48	役員任期制等の改善、各区規約の運用工夫	多くの区民が役員を経験し、地区、地域の自治能力向上を図る	継続	○	まち協・区福祉協	→						

● 目標(基本方針): その他(事務局組織体制の改革と対応)

継続事業	49	運営・組織の改善	活動内容の工夫、見直しなどを進め、区民や役員への負担軽減を図る	継続	○	まち協	→							
	50	事務局体制の充実	組織の簡素化を図り、だれでも参加できるように区内適任者の発掘に努め、それぞれの持つ技量を有効に発揮してもらう	継続	○	まち協	→							
	51	市の交付金への対応	効率的かつ有意義な交付金の活用を図る	継続	○	まち協	→							
課題事業	52	事業評価	事業評価委員による事業の点検、評価、提言	新規	●	まち協	■	■	■	■	■	■	■	■

備考 ●新規:第2次計画で実施 ○継続:第2次計画でも実施 ▲検討中:現在検討中 △研究:将来いずれかの時点で検討する。×:計画から外す。
(注)地域分権:「自分たちのまちは、自分たちで創ろう」という活動、そのための資金集めの試み。

5 計画の実現に向けて

(1) まちづくりへの積極的な参加を

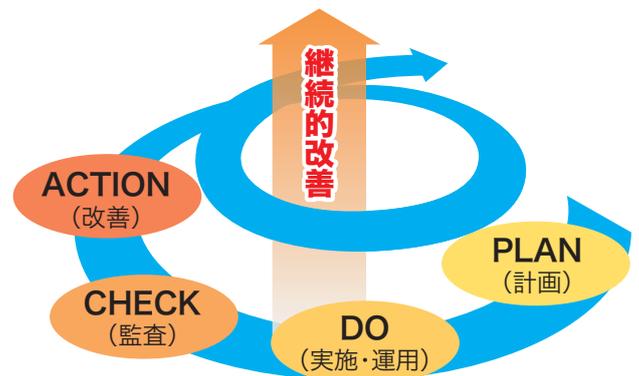
西山口地区まちづくり協議会は、地区住民や地区内各種団体などによって構成され、西山口地区のまちづくりに取り組んできています。

目指す将来像 ～あした住みよい西山口(住みよい・住みたいまち西山口)～ を実現するために、地区住民の想いや意見を集約し、第2次まちづくり計画を策定しました。このまちづくり計画に描いた未来の実現には、西山口地区に関わる個人や団体、全てみなさんが、互いに考え、行動するなど、まちづくり活動に積極的に参加することが大切です。



(2) 継続的改善

今後の計画期間では、計画の実現に向けて多くのみなさんが関わり、事業を行っていきます。このため、計画内容、事業内容は適切だったか、期待する効果が出たか等について、常に検証・評価し、よりよいまちづくりのために、見直しを行う「継続的改善 (PDCAサイクル)」を取り入れていきます。特に事業の効果と役員の労力のバランスに配慮し、一部の区民(役員)に負担が集中しないよう、役割の分担に努めます。この組織を将来にわたって持続可能とするためには大事なポイントです。



■ 継続的改善とは？

PDCAサイクルとされています。Plan(計画)、Do(実行)、Check(点検・評価)、Action(改善)の4つのステップの頭文字を取って名づけられています。



まちづくりに終わりはありませんので、このPDCAサイクルに継続して取り組

むことで、よりよいまちづくりにつながります。

PDCAサイクルで重要なことは、最後のActionで課題の解決に取り組み、その取り組みを次のPDCAサイクルのPlanにつなげることです。こうすることで、PDCAサイクルは循環し、業務は螺旋(らせん)状に改善されます。

付記・第2次西山口地区まちづくり計画策定委員名簿(敬称略)

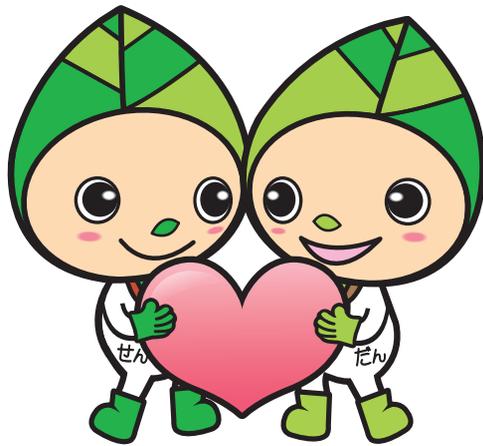
役 職	氏 名	役 職	氏 名
満水区副区長	梅田 敏明	掛東学園コーディネーター	兵藤 嘉男
蘭ヶ谷区副区長	斉藤 正美	福祉ボランティア委員	松浦 みどり
宮脇区副区長	大石 常夫		
成滝区副区長	◎ 村松 篤		
葛川区副区長	○ 池田 正美		
青葉台区副区長	田中 源治		
金城区副区長	竹嶋 広明		

◎ 策定委員長、○ 同副委員長

まちづくり協議会事務局

まち協会長	大村 哲久	同企画委員	榛葉 貞雄
区長会会長	榛葉 雅和	同企画委員	石田 信昭
まち協副会長	片桐 正二郎	同企画委員	山内 英次
まち協企画委員長	石山 詔男	同企画委員	松本 美枝子
同副企画委員長	水野 雅文	同企画委員	中村 弘美





西山口マスコットキャラクター
せんちゃん・だんちゃん

西山口地区まちづくり協議会

〒436-0085 掛川市成滝147-1 西山口地域生涯学習センター内
電話 0537-24-6921 E-mail:nishi_machikyo@yahoo.co.jp